

令和5年度 第2回

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

会長 由利本荘市長 湊 貴信

3 報 告

報告第1号 令和4年度 由利高原鉄道（株）実績報告並びに
令和4年度 由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

報告第2号 乗り[逢い]交通事業「石沢地域交通」ボランティア輸送の
乗降指定箇所の追加について

4 議 事

議案第1号 令和4年度 地域公共交通活性化再生協議会事業報告について

議案第2号 令和4年度 地域公共交通活性化再生協議会決算承認について

議案第3号 令和5年度 地域公共交通活性化再生協議会予算（案）について

議案第4号 令和6年度 生活交通確保維持改善計画（案）について

議案第5号 由利本荘市地域公共交通計画策定業務委託に係る業者選定について

5 その他

6 閉 会

令和 5 年度
由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

【委員】

(※備考欄の職氏名は本日の代理出席者)

区分	所属	職名	氏名(委員名)	備考
1号	由利本荘市	市長	湊 貴 信	
2号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	尾上 さやか	【欠席】
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱 場 道 夫	代理 運輸部長 真坂 美幸
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋 藤 善 一	代理 輸送課長 金谷 文之
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小 石 和 弥	
	秋田県由利地域振興局	建設部長	備 前 亨	
3号	由利本荘警察署	署長	佐 藤 正 志	代理 交通課長 佐々木 宏樹
	国土交通省東北運輸局	鉄道部長	齊 藤 仁 伸	代理 秋田運輸支局 首席運輸企画専門官 小林 弘典
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	佐 々 木 敏	
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	三 浦 一 成	【欠席】
	秋田県由利地域振興局	総務企画部長	土 門 久 仁 子	
	由利本荘市商工会	会長	佐 藤 久 美	【欠席】
	由利本荘市観光協会	会長	猪 股 春 夫	【欠席】
	秋田しんせい農業協同組合	代表理事組合長	小 松 忠 彦	【欠席】
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	松 田 武 文	【欠席】
	由利本荘市教育委員会	教育長	秋 山 正 毅	代理 教育次長 木内 卓朗
	由利本荘市校長会	会長	佐 藤 隆	
	由利本荘市PTA連合会	会長	鈴 木 博 文	【欠席】
	由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会	高校部会長	高 橋 雄 一	代理 教頭 小名 雅司
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土 田 典 子	
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	小 野 崎 一 哉	代理 事務局長 高橋 寿和
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	泉 谷 赳 馬	代理 副理事長 土田 寛史
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	佐 藤 久 美	【欠席】
	由利本荘市企画振興部	部長	阿 部 徹	
	本荘地域公共交通利用者		大 竹 悦 子	
	矢島地域公共交通利用者		菅 原 賢 一	【欠席】
岩城地域公共交通利用者		今 野 正 樹		

【委員】

(※備考欄の職氏名は本日の代理出席者)

区分	所属	職名	氏名(委員名)	備考
3号	由利地域公共交通利用者		多田 厚	【欠席】
	大内地域公共交通利用者		菊地 洋	【欠席】
	東由利地域公共交通利用者		長谷山 博昭	
	西目地域公共交通利用者		加賀 秀喜	
	鳥海地域公共交通利用者		高橋 荘一	
	秋田大学	准教授	日野 智	
	秋田県立大学	准教授	星野 満博	

【事務局：地域づくり推進課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	
企画振興部 地域づくり推進課	課長	佐藤 昌司	
	班長	田口 侑樹	
	主査	池田 勇人	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	佐々木 まゆみ	
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主査	斎藤 正晴	【欠席】
由利総合支所 市民サービス課 振興班	班長	伊藤 善裕	
大内総合支所 市民サービス課 振興班	主査	加藤 淳子	
東由利総合支所 市民サービス課 振興班	班長	小松 喜恒	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主査	小松 盛康	
鳥海総合支所 市民サービス課	課長補佐兼班長	菊地 勝	

令和4年度 由利高原鉄道（株）実績報告並びに
令和4年度 由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

1. 由利高原鉄道

市の助成額：100,353,254円（前年度95,714,318円）

- 【内容】由利高原鉄道㈱の運営費として、前年度（令和3年度）の経常損失額を補填する補助金
※うち県補助額＝18,000,000円（上限）

2. コミュニティバス

運行経費：128,830,239円（前年度128,595,202円）

- 【実施地域】市内全8地域（本荘、矢島、岩城、由利、大内、東由利、西目、鳥海）
【実施形態】市街地内の循環バスのほか各集落と診療所、商業施設、公共施設などを結ぶ定時定路線型運行（一部定時定路線型予約運行あり）
※うち国庫補助12,564,000円、県補助額23,930,000円
※コミュニティバスの乗車実績参照

3. 羽後交道路線バスへの補助金

市の助成額：124,079,000円（前年度116,100,000円）

- 【実施地域】市全域
【実施形態】生活バス路線の運行にかかる経費の赤字の補填として、バス事業者に対して支払う補助金
※県補助については令和4年度対象外

4. 運転免許自主返納者支援制度

市の負担額：304,900円（前年度248,000円）

- 【実施地域】市全域
【実施内容】高齢者の事故防止を図るため、運転免許証自主返納者にコミュニティバス運賃の半額を支援

(参考) 上記 1～4 の経費、補助金等の集計

項目	A. 市が負担する 運行に係る経費 (1～4の合計額)	B. 国・県補助金	C. 運賃収入	D. 市が負担する 実質経費 (A-B-C)
鉄道	100,353,254	18,000,000	—	82,353,254
バス	253,214,139	36,494,000	11,681,149	205,038,990
合計	353,567,393	54,494,000	11,681,149	287,392,244

(参考) 「B 国・県補助金」の他、「地方バス路線運行維持対策費」として特別交付税（一般財源扱い）が 174,711,000 円参入されている。
 (上記「D」－特別交付税＝112,681,244 円)

由利高原鉄道(株) 第39期実績報告 (R4.4月～R5.3月分)

○輸送人員

	定期外					
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン
令和3年度(38期)	8,916	1,692	12,494	1,159	24,261	3,435
令和4年度(39期)	8,856	2,125	15,685	829	27,495	7,136
対前年差	△60	433	3,191	△330	3,234	3,701
対前年比	99.3%	125.6%	125.5%	71.5%	113.3%	207.7%

○運輸収入

	定期外					
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン
令和3年度(38期)	3,698,688	639,561	4,766,237	4,884,362	13,988,848	1,020,320
令和4年度(39期)	4,368,412	712,787	7,136,959	3,866,761	16,084,919	1,988,940
対前年差	669,724	73,226	2,370,722	△1,017,601	2,096,071	968,620
対前年比	118.1%	111.4%	149.7%	79.2%	115.0%	194.9%

※本社扱い：通販・車内販売の販売扱い、ワンマンはJRからの乗り換え含む

(単位：人)

		定期外計	定期		定期計	総合計
回数券	団体		通勤	通学		
3,817	4,914	36,427	18,440	114,556	132,996	169,423
4,202	6,175	45,008	17,104	123,480	140,584	185,592
385	1,261	8,581	Δ 1,336	8,924	7,588	16,169
110.1%	125.7%	123.6%	92.8%	107.8%	105.7%	109.5%

(単位：円)

		定期外計	定期		定期計	総合計
回数券	団体		通勤	通学		
1,203,917	3,276,676	19,489,761	2,762,040	10,258,092	13,020,132	32,509,893
1,354,981	4,557,546	23,986,386	3,181,997	11,770,491	14,952,488	38,938,874
151,064	1,280,870	4,496,625	419,957	1,512,399	1,932,356	6,428,981
112.5%	139.1%	123.1%	115.2%	114.7%	114.8%	119.8%

令和 4 年度 由利本荘市コミュニティバスの乗車実績

報告第 1 号

対象期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

下段 () 内は令和 3 年乗車実績

地域	路線名	令和 4 年度 運行内容	路線別			地域別		
			運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率	運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率
			①	②	②/①	③	④	④/③
本 荘	循環バス (御門町)	毎日運行 (日祝 5 便) 1 日 9 循環	3,012 (3,008)	12,778 (11,563)	4.2 (3.8)	7,389 (7,381)	26,918 (24,469)	3.6 (3.3)
	循環バス (八幡下)		3,012 (3,008)	12,309 (10,926)	4.1 (3.6)			
	子吉線 (西地区)	週 2 日運行 1 日 7 便	665 (672)	1,133 (1,180)	1.7 (1.8)			
	子吉線 (東地区)		700 (693)	698 (800)	1.0 (1.2)			
矢 島	桃野線	週 3 日運行 1 日 2 便	288 (292)	48 (15)	0.2 (0.1)	288 (292)	48 (15)	0.2 (0.1)
岩 城	岩城線 (君ヶ野行き)	週 5 日運行 1 日 1 2 便	1,440 (1,452)	4,712 (4,630)	3.3 (3.2)	3,648 (3,674)	9,379 (9,502)	2.6 (2.6)
	岩城線 (滝俣行き)		1,440 (1,452)	3,725 (3,895)	2.6 (2.7)			
	南沢線	週 3 日運行 1 日 4 便	576 (572)	704 (727)	1.2 (1.3)			
	道川北線	週 2 日運行 1 日 2 便	192 (198)	238 (250)	1.2 (1.3)			
大 内	中田代線	毎日運行 (土日祝 8 便・ 一部予約運行) 1 日 1 2 便	3,897 (3,916)	6,895 (8,437)	1.8 (2.2)	9,010 (9,018)	12,022 (14,510)	1.3 (1.6)
	高尾線	毎日運行 (土日祝 8 便・ 一部予約運行) 1 日 1 0 便	3,355 (3,350)	3,412 (4,227)	1.0 (1.3)			
	羽広-軽井沢線	週 6 日運行 (一部予約運 行) 1 日 6 便	1,758 (1,752)	1,715 (1,846)	1.0 (1.1)			
東由利	八塩線	週 5 日運行 (一部予約運 行) 1 日 7 便	1,715 (1,715)	2,442 (2,182)	1.4 (1.3)	2,861 (2,801)	3,619 (3,002)	1.3 (1.1)
	法内線	週 3 日運行 (一部予約運 行) 1 日 7 便	1,036 (1,015)	1,034 (722)	1.0 (0.7)			
	大吹川線	週 2 日運行 (完全予約 制) 1 日 4 便	110 (71)	143 (98)	1.3 (1.4)			
西 目	西目線	週 6 日運行 (土曜 4 便) 1 日 1 0 便	2,630 (2,604)	2,283 (2,070)	0.9 (0.8)	2,630 (2,604)	2,283 (2,070)	0.9 (0.8)
鳥 海	伏見笹子線	毎日運行 (土日祝 8 便・ 一部予約運行) 1 日 1 2 便	3,876 (3,876)	3,543 (4,396)	0.9 (1.1)	9,429 (9,366)	6,663 (7,588)	0.7 (0.8)
	伏見笹子線 (新沢平経由)	週 2 日運行 (一部予約運 行) 1 日 2 便	192 (186)	322 (348)	1.7 (1.9)			
	中直根線	毎日運行 (土日祝 5 便・ 一部予約運行) 1 日 8 便	2,470 (2,556)	1,517 (1,562)	0.6 (0.6)			
	猿倉線	週 5 日運行 1 日 6 便	1,445 (1,314)	390 (238)	0.3 (0.2)			
	皿川線	週 5 日運行 (一部予約運 行) 1 日 6 便	1,446 (1,434)	891 (1,044)	0.6 (0.7)			
合 計			35,255 (35,136)	60,932 (61,156)	1.7 (1.7)	35,255 (35,136)	60,932 (61,156)	1.7 (1.7)

【市コミュニティバス 運行費実績】 対象期間: 令和3年10月～令和4年9月

報告第1号

No.	地域	路線名	系統数	道路運送法区分	運行開始日	運行費用	運行収入	市負担額	国庫補助額	県補助額	市実質負担額	備考
						(A)	(B)	(C)=(A)-(B)				
1	本荘	循環バス	2	4条	H27.10.1	23,157,792	4,458,350	18,699,442	4,098,000	4,098,000	10,503,442	
2		子吉線	4	4条	H28.10.1	7,155,084	404,400	6,750,684	883,000	883,000	4,984,684	
3	岩城	岩城線	4	4条	H24.4.1	15,508,053	1,619,599	13,888,454	0	3,701,000	10,187,454	
4		南沢線	2	4条	H15.4.14	1,063,716	136,200	927,516	0	255,000	672,516	
5		道川北線	1	4条	H27.10.1	291,894	53,800	238,094	42,000	42,000	154,094	
6	大内	高尾線	2	79条	H24.4.1	11,294,065	776,500	10,517,565	0	4,256,000	6,261,565	
7		中田代線	2	79条	H28.4.1	14,950,037	1,556,100	13,393,937	2,715,000	2,715,000	7,963,937	
8		羽広－軽井沢線	29	79条	H28.4.1	10,696,648	347,100	10,349,548	899,000	1,269,000	8,181,548	
9	西目	西目線	1	79条	H23.4.1	5,858,765	421,200	5,437,565	1,299,000	1,299,000	2,839,565	
10	鳥海	伏見笹子線	7	79条	H24.4.1	14,044,977	781,300	13,263,677	0	2,769,000	10,494,677	
11		猿倉線	1	79条	H19.10.1	2,255,075	33,400	2,221,675	0	0	2,221,675	
12		中直根線	4	79条	H19.10.1	6,222,468	306,000	5,916,468	0	5,000	5,911,468	
13		皿川線	1	79条	H19.10.1	3,124,033	152,000	2,972,033	0	10,000	2,962,033	
14	矢島	桃野線	1	79条	H24.10.1	1,531,949	5,700	1,526,249	0	0	1,526,249	
15	東由利	八塩線	2	4条	H28.10.1	6,794,259	440,000	6,354,259	2,026,000	2,026,000	2,302,259	
16		法内線	3	4条	H28.10.1	3,717,464	166,500	3,550,964	602,000	602,000	2,346,964	
17		大吹川線	7	4条	H28.10.1	1,163,960	23,000	1,140,960	0	0	1,140,960	
合 計			73	路線数17		128,830,239	11,681,149	117,149,090	12,564,000	23,930,000	80,655,090	
令和3年度合計			73	路線数17		128,595,202	12,082,600	117,988,758	15,191,000	26,132,000	77,764,576	

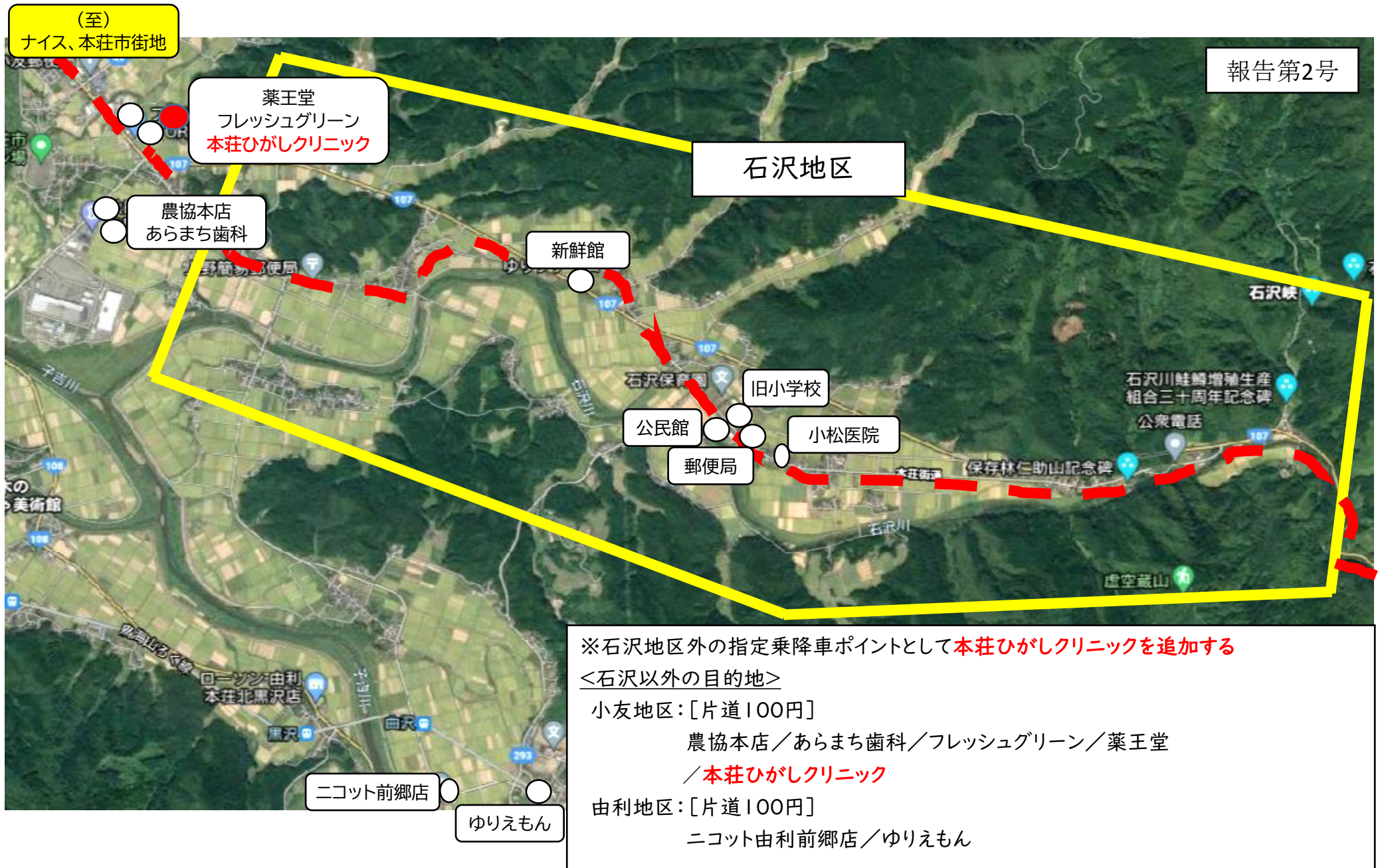
※本表は「秋田県生活バス路線等維持費補助金」対象期間で算定。

目的	・高齢化や過疎化が進み、運転免許の自主返納や独居世帯などの住民が増えている中、生まれ育った地域で安心して暮らしていけるよう、最低限の生活の足を確保しようとするもの。
運営	・石沢地域振興会
運行パターン	・互助による輸送 ・乗合タクシー（道路運送法「一般乗合旅客自動車運送事業」）
運行範囲	・互助による輸送：石沢地区全域および小友地区、由利地区の定める目的地と利用者宅の間の送迎 ・乗合タクシー：ナイス本荘インター店と石沢公民館の間の送迎
運行概要	<p>【運行】 随時運行とし、ドライバーが対応可能な場合、予約に応じて運行する</p> <p>【運賃】 <石沢地区> 片道 50 円 石沢地域全域に運行拡大</p> <p><小友地区> 片道 100 円 フレッシュグリーン、薬王堂、JA 秋田しんせい本店、あらまち歯科 本荘ひがしクリニック</p> <p><由利地域> 片道 100 円 ニコット由利前郷店、ゆりえもん</p> <p>※上記目的地を組み合わせて運行することも可能とし、その際の運賃は、石沢地区を起点として小友地区、または由利地域に跨ぐ場合に、それぞれの運賃を受領するものとする</p> <p>※公民館事業等に参加するためにボランティア輸送を利用する場合の運賃は無料とする</p> <p>【利用者】 石沢地区住民</p> <p>【予約】 利用者は運行前日の午後 3 時まで電話にて予約する 予約先：石沢公民館（29-2111）</p> <p>【保険】 損保ジャパン（株）の「移動支援サービス専用自動車保険（ライトプラン）」に加入する</p>
接続する交通網	・羽後交通「東由利線（石沢小学校前）」
配慮すべき交通網	<p><互助による輸送について></p> <p>・路線バス「東由利線」が石沢地区を貫通するような形で運行されているが、地域によってはバス停までが遠く利用することが困難な所が点在する。このことから、石沢地区内の移動を自由にする（バスへの乗り継ぎについては、自宅最寄りのバス停までとする。）そこから路線バスに乗り換える環境を創ることで、利用促進にも繋げることが可能になる。</p> <p>・石沢地区を営業エリアとする光タクシー（株）、本荘タクシー（株）、（有）ハートワン交通ほか、近隣の事業者でもある東交通に対し事業内容説明を行い、事業実施について内諾を得ている。</p> <p><乗合タクシーについて></p> <p>・ルートが重複する路線バス「東由利線」について、運行する羽後交通（株）の内諾を得ている。</p>

運賃	<p><互助による輸送></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記「運行概要」のとおり <p><乗合タクシー> ※変更なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 4人乗り車両で運行した場合：1乗車650円 9人乗り車両で運行した場合：1乗車450円
期間	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日改正適用開始／乗合タクシー運行継続
運行車両	<ul style="list-style-type: none"> ・互助による輸送に対し市所有のミニバン車両を無償貸与予定 ・乗合タクシーは委託先事業者のタクシー車両

乗り[逢い]交通事業 石沢地域交通「ボランティア輸送」の乗降指定箇所の追加について

報告第2号



令和4年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会 事業報告について

【協議会開催】

- ◆令和4年4月4日通知（書面協議）
 - ・令和4年度 由利高原鉄道生活交通確保維持改善計画
- ◆令和4年6月29日開催
 - ・令和4年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会 乗り[逢い]交通事業の運行内容の変更について（石脇新山乗合タクシー）
 - 令和5年度 由利高原鉄道生活交通確保維持改善計画（案）
- ◆令和4年8月5日通知（書面協議）
 - ・石脇新山乗合タクシーの料金変更について
- ◆令和5年2月3日通知（書面協議）
 - ・令和5年度 由利高原鉄道生活交通確保維持改善計画（令和4年度補正）
- ◆令和5年3月13日開催
 - ・由利高原鉄道（株）第39期実績報告（令和4年度）
 - 並びに令和4年度由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告
 - ・乗り[逢い]交通事業「石沢地域交通」のボランティア輸送の運行範囲拡大
 - 並びに乗合タクシーの継続について
 - ・由利本荘市地域公共交通網形成計画の実施事業等の検証
 - ・東由利地域コミュニティバスの路線変更について
- ◆令和5年3月15日通知（書面協議）
 - ・コミュニティバス西目線の計画運行回数と時刻表の変更について

【分科会開催】

- 地域公共交通活性化再生協議会分科会（令和5年1月26日開催）
 - ・由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）実施事業等の検証

【事業内容】

- ・1月の分科会で報告したとおり網形成計画に定める各種事業を推進した
- ・特に、既に「乗り[逢い]交通事業」が導入されている運営主体との対話会により、利用しやすい環境を整えることに注力し、成果を得られた
- ・由利高原鉄道の通学定期代の割引きにより、大幅な利用者増となっている

令和4年度由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会決算書

歳入総額 223,000 円

歳出総額 223,000 円

差引残額 0 円

1 歳入

(単位：円)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1 負担金	223,000	223,000	0	由利本荘市より
2 諸収入	1,000	0	△ 1,000	預金利息
合計	224,000	223,000	△ 1,000	

2 歳出

(単位：円)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1 事業費	222,000	182,113	△ 39,887	網形成計画事業の実施 分科会の開催（書面協議）
2 返還金	1,000	40,887	39,887	由利本荘市へ
3 予備費	1,000	0	△ 1,000	
合計	224,000	223,000	△ 1,000	

監 査 報 告 書

令和4年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会の収入、支出について
監査した結果、関係諸帳簿、証票に適合し、かつ適正であることを認めましたの
で報告いたします。

令和 5 年 6 月 23 日

監査委員

小石和弥

監査委員

鈴木博文

令和5年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会予算（案）

歳入総額 7,192,000 円

歳出総額 7,192,000 円

差引残額 0 円

1 歳入 (単位：円)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
1 負担金	7,191,000	223,000	6,968,000	由利本荘市より 協議会開催費・事業経費 (223千円) 地域公共交通計画策定コン サル経費(6,968千円)
2 諸収入	1,000	1,000	0	預金利息等
合計	7,192,000	224,000	6,968,000	

2 歳出 (単位：円)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
1 事業費	7,190,000	222,000	6,968,000	網形成計画事業の実施 分科会の開催(222千円) 地域公共交通計画策定業務委 託費(6,968千円)
2 返還金	1,000	1,000	0	
3 予備費	1,000	1,000	0	
合計	7,192,000	224,000	6,968,000	

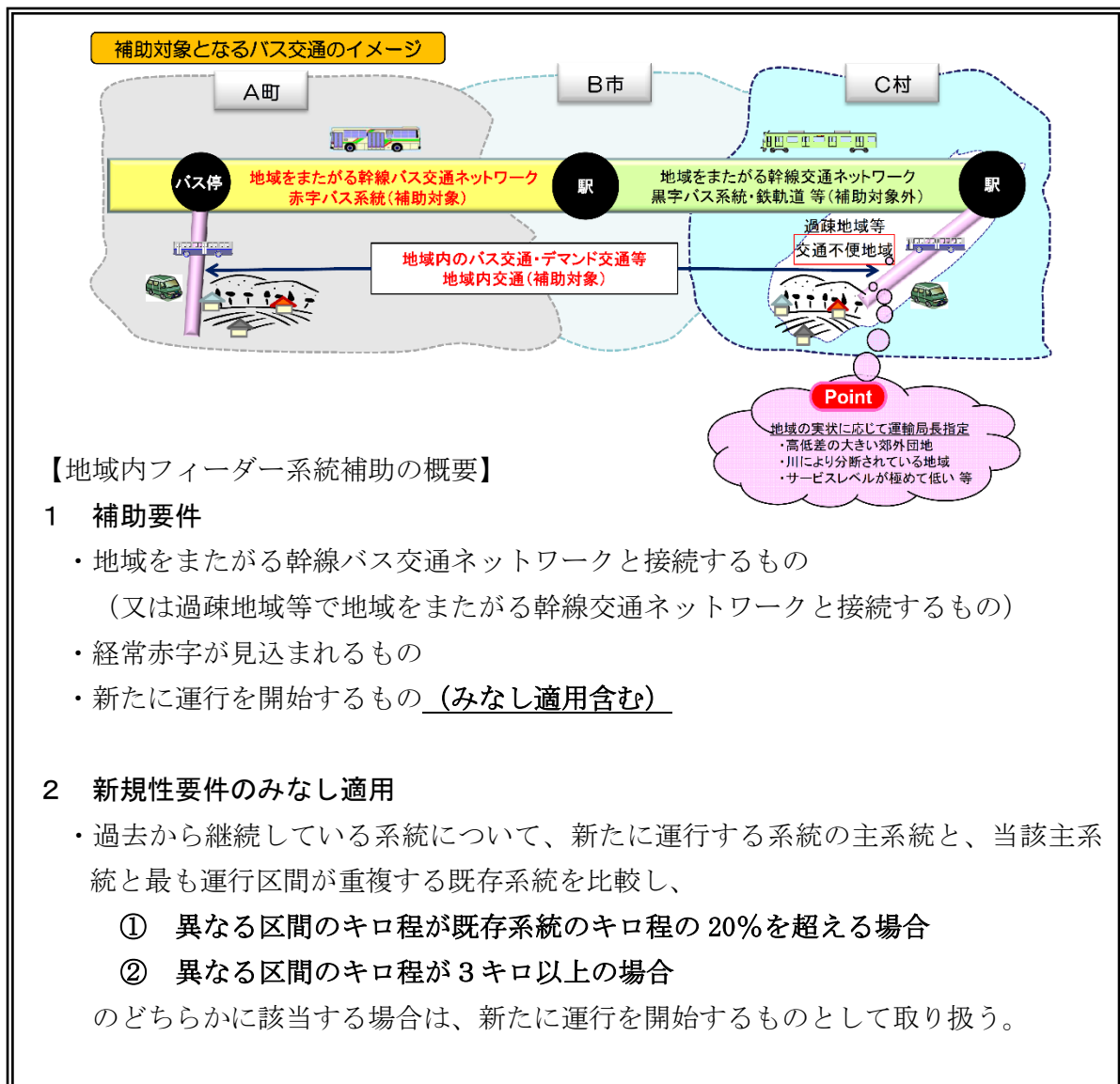
※ 1. 事業費は、網形成計画（第二次）の事業推進経費並びに事業検証・検討に係る分科会開催経費と、由利本荘市地域公共交通計画策定業務委託費

※ 2. 事業完了後に残額が生じる場合は市へ返還する（戻入処理）

令和6年度 生活交通確保維持改善計画（案）について

次の路線を、地域内フィーダー系統補助対象とし、国の支援を受けようとするものであり、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第18条で準用する第8条の規程により生活交通確保維持改善計画策定のため、協議会の承認を求めるものである。

	本荘地域循環バス（2系統）	羽広-軽井沢線（3系統）	
＜既掲載路線13系統＞	中田代線	道川北線	西目線
	子吉線（3系統）	八塩線	法内線



令和 6 年度 生活交通確保維持改善計画 (地域内フィーダー系統確保維持計画を含む)

(策定年月日) 令和 5 年 6 月 日

(協議会名称) 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

生活交通確保維持改善計画の名称

由利本荘市地域内フィーダー系統確保維持計画

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、北は秋田市、南はにかほ市、東は大仙市、横手市、湯沢市、羽後町に接しており、面積は 1,209.60 km²で、秋田県の面積の 10.4%を占め、県内一の面積を誇る。

本市では鉄道 2 路線とバス 31 路線の公共交通網が形成されており、鉄道は日本海沿いに J R 羽越本線が本荘、岩城、大内、西目地域および市外を、子吉川に沿って山間部を運行する由利高原鉄道鳥海山ろく線が本荘、由利および矢島地域を結んでいる。令和 3 年度リニューアルした羽後本荘駅では、これらの鉄道路線だけでなく各種バス路線と接続しており、相互の乗り換えが可能である。また、本市におけるバス路線は幹線を羽後交通（株）、支線を市のコミュニティバスが運行しており、中心市街地内では循環バスも運行している。

これまでは、羽後交通（株）の不採算路線を市が代替運行することで路線の確保に努めてきたが、過疎化や人口減少、高齢化の進行によって交通空白地域から公共交通の運行要望が増加しており、新たな対応・対策が必要になってきている。

<地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する運行システムの概要>

本荘地域循環バス	J R 羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」、「急行秋田線」と羽後本荘駅で接続する。
道川北線	J R 羽越本線、地域間幹線系統「急行秋田線」と道川駅で接続する。
西目線	J R 羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」と西目駅で接続する。
中田代線	J R 羽越本線、地域間交通ネットワーク路線バス「岩谷線」と羽後岩谷駅で接続する。
羽広ー軽井沢線	J R 羽越本線、地域間交通ネットワーク路線バス「岩谷線」と羽後岩谷駅で接続する。
子吉線	J R 羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」、「急行秋田線」と羽後本荘駅で接続する。
八塩線	地域間交通ネットワーク路線バス「急行横手線」、「東由利線」と道の駅東由利で接続する。
法内線	地域間交通ネットワーク路線バス「急行横手線」、「東由利線」と道の駅東由利で接続する。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

前期の「由利本荘市地域公共交通網形成計画」において、交通空白地域の解消を図るため「地域拠点を核としたフィーダー交通の導入」を推進し、その目標を達成している。令和2年4月に策定した次期計画である「由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）」においても「地域内幹線であるコミュニティバスの運行と維持」として地域内のフィーダー交通の運行と維持を事業の一つとして掲げていることから、次のとおり目標を定める。

（由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）P31、32 参照）

各系統の輸送人員による事業目標

系統名	実績	目標（年間輸送人員）		
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
本荘地域循環バス	25,087人	25,000人	25,000人	25,000人
道川北線	238人	220人	220人	220人
西目線	2,283人	2,200人	2,200人	2,200人
中田代線	6,895人	6,800人	6,800人	6,800人
羽広－軽井沢線	1,715人	1,700人	1,700人	1,700人
子吉線	1,831人	1,800人	1,800人	1,800人
八塩線	2,442人	2,400人	2,400人	2,400人
法内線	1,034人	900人	900人	900人

(2) 事業の効果

本荘地域循環バス	双方向運行を行うことで、待ち時間と乗り継ぎの不便さの解消を図り、利用促進と新たな利用者の掘り起こしを含めた利用者数の増加が見込まれる。
道川北線	地元協議を重ね、一定の利用者が見込まれるほか、これまで直接行くことができなかった住民の利用ニーズの高い施設へ直接行けるようになる。
西目線	町内要望へ対応した運行経路の変更・延伸による、新たな利用者の掘り起こしを含めた利用者の増加が見込まれる。
中田代線	路線バスの廃止区間を補完した生活に欠かせない路線として、市のコミュニティバスを運行し、補完・維持していくもので、地元協議を重ね、地域の足の確保が図られる。
羽広－軽井沢線	市コミュニティバス「軽井沢スクールバス線」が地域の小・中学校の統廃合のためスクールバスへの混乗が取りやめとなり、同路線と市コミバス「羽広線」を統合した路線として開設する。地元協議を重ね、結節点である道の駅まで直接乗り入れられるようになるなど、利便性を考慮した路線設定とダイヤ編成を行うことで、利用促進が図られる。
子吉線	利便性を考慮した路線設定とダイヤ編成を行い、これまで直接行くことができなかった利用ニーズの高い施設に行くことができるほか、他地域へのアクセスに関する利便性が向上する。
八塩線	これまでの路線バスの代替えとして運行することにより、地域住民の生活の利便性を維持できるほか、フリー乗降区間を設けることでさらなる利便性の向上に繋がる。
法内線	通院や買い物の移動手段として一定の利用者が見込め、交通空白地域の解消が図られる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

本市の公共交通を取り巻く状況は、人口減少や高齢化による利用者の減少のほか、市街地が面的に広がっている地域や、山間部などでは、居住地が点在している地域があるなど状況が異なっているため、各地域の検討委員会等で利便性向上と積極的な利用の促進を図るための対話会を行い、市・交通事業者・地域住民が一体となり取り組む。

また、持続可能なネットワーク形成に資するため各路線の便ごとの乗車データを収集し、利用率の良い便や悪い便の分析を行い、よりニーズに沿ったダイヤ編成を行う。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

表1のとおり。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

- ・羽後交通株式会社、光タクシー株式会社、東交通株式会社

〔由利本荘市から上記運行事業者への委託料については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。〕

- ・由利本荘市

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

羽後交通株式会社

光タクシー株式会社

東交通株式会社

由利本荘市

7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】

※該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書きに基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

11. 外客来訪促進計画との整合性
【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】

※該当なし

12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要
【地域内フィーダー系統のみ】

表5のとおり。

13. 車両の取得に係る目的・必要性
【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

14. 車両の取得に係る目標・効果
【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）
【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る目的、必要性
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

20. 協議会の開催状況と主な議論

【由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会】

- ・平成27年5月19日 由利本荘市平成28年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成28年2月10日 同計画の変更について承認
- ・平成28年6月29日 由利本荘市平成29年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成29年6月15日 由利本荘市平成30年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成30年6月22日 由利本荘市平成31年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和元年6月21日 由利本荘市令和2年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和2年7月10日 由利本荘市令和3年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和3年6月24日 由利本荘市令和4年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和4年6月29日 由利本荘市令和5年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和5年6月 日 由利本荘市令和6年度生活交通確保維持改善計画を承認

21. 利用者等の意見の反映状況

- ・由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会への利用者代表の参加
- ・利用者目線に立ったワークショップの開催、沿線町内会や各種団体と対話会の開催
- ・「利用者アンケート」を行いダイヤ改正に反映

22. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	秋田県交通政策課長 秋田県由利地域振興局総務企画部長 秋田県由利地域振興局建設部長
関係市区町村	由利本荘市長 由利本荘市企画振興部長
交通事業者 交通施設管理者等	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社長 由利高原鉄道株式会社代表取締役社長 羽後交通株式会社取締役社長 (一社) 秋田県ハイヤー協会本荘由利支部長 由利本荘警察署長
地方運輸局	東北運輸局鉄道部長 東北運輸局秋田運輸支局長
その他協議会が必要と認める者	由利本荘市商工会会長 由利本荘市観光協会会長 秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 (一社) 由利本荘医師会会長 由利本荘市教育委員会教育長 由利本荘市校長会会長 由利本荘市PTA連合会会長 由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会高校部会長 由利本荘市身体障害者協会会長 由利本荘市婦人団体連絡協議会会長 由利本荘市老人クラブ連合会会長 (公社) 由利本荘青年会議所理事長 鳥海山ろく線運営促進連絡協議会会長 8地域の公共交通利用者 秋田大学・秋田県立大学の准教授

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 秋田県由利本荘市尾崎17

(所 属) 由利本荘市企画振興部地域づくり推進課

(氏 名) 田口 侑樹

(電 話) 0184-24-6378

(e-mail) tiiki@city.yurihonjo.lg.jp

由利本荘市地域公共交通計画策定業務委託に係る業者選定について

由利本荘市地域公共交通計画策定業務の委託先の選定結果を次のとおり報告する。

日 時	件 名	備 考
令和 5 年 5 月 1 5 日 (月)	◆実施要領の公表 ◆プロポーザル審査委員就任依頼 ・東北運輸局秋田支局長 佐々木敏 ・秋田県交通政策課長 三浦一成 ・由利地域振興局建設部長 備前亨 ・秋田県立大学准教授 星野満博 ・由利本荘市企画振興部長 阿部徹	・市 HP にて募集
令和 5 年 5 月 2 6 日 (金)	◆参加表明書提出期間期限	・ランドブレイン株式会社秋田事務所 ・日本工営株式会社秋田事務所 の 2 社より提出あり
令和 5 年 6 月 1 4 日 (水)	◆企画提案書提出期間期限	・上記 2 社より提出あり
令和 5 年 6 月 1 9 日 (月)	◆プレゼンテーション審査 ・企画提案プレゼンテーション実施 ・企画提案評価審査 ・契約予定者の選定	<契約予定者> ランドブレイン株式会社秋田事務所
令和 5 年 6 月末もしくは 7 月上旬	◆ランドブレイン株式会社秋田事務所 と締結契約予定	

審査結果

社 名	総合得点	備 考
ランドブレイン株式会社秋田事務所	8 2 . 6 点	最高得点者
日本工営株式会社秋田事務所	6 6 . 0 点	

(2)業務スケジュール

業務内容	令和6年																										
	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 計画準備																											
2 計画の方向性、方針の設定																											
(1) 輸送実績資料等の収集・整理																											
(2) 日常生活不便地域の整理																											
(3) 空白地域居住者アンケート調査																											
3 利用者及び住民ニーズ把握調査																											
(1) 主要拠点ヒアリング調査																											
(2) 利用者ヒアリング調査																											
(3) 事業所アンケート調査																											
(4) 高校生アンケート調査																											
(5) 高校生徒会ヒアリング																											
(6) 路線別カルテの作成																											
(7) 地域別カルテの作成																											
(8) 運行判断ガイドラインの作成																											
4 施策メニューの検討調整、設定																											
(1) 具体的な施策メニューの検討																											
(2) 進行管理・事業主体の検討																											
(3) まちづくり事業と連携した取り組みの提案																											
(4) 進行管理の検討																											
5 活性化協議会支援、打ち合わせ協議																											
6 計画(案)のとりまとめ																											
7 業務報告書の作成																											

凡例 <役割分担案>

← 由利本荘市
地域公共交通活性化
再生協議会事務局

← ランドブレイン

次年度の利便増進実施に向けた事業の提案

パブコメ実施

協議会①
調査概要及び実施時期の説明

協議会②
各種調査結果報告
市の公共交通の課題

協議会③
計画素案、概要版の
提示

協議会④
計画の承認

素案

納品